



平成 21 年 8 月 7 日

各 位

会 社 名 S M K 株式会社
代表者名 代表取締役社長 中村 哲也
(コード番号 6798)
問合せ先 取締役常務執行役員 山田 一
(TEL . 03 - 3785 - 1111)

(訂正・数値データ訂正あり)「平成 22 年 3 月期 第 1 四半期決算短信」の一部訂正について

平成 21 年 7 月 27 日に公表しました「平成 22 年 3 月期 第 1 四半期決算短信」の記載内容に一部訂正がありましたので、下記のとおりご報告いたします。なお、訂正箇所には下線を付しております。

記

1. 訂正の理由

会計監査人による四半期レビューの過程で、繰延税金資産 77 百万円の修正指摘があり、これに必ずるものです。

2. 訂正箇所

- (1) 「平成 22 年 3 月期 第 1 四半期決算短信」1 ページ
 - 1. 平成 22 年 3 月期第 1 四半期の連結業績(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 6 月 30 日)
- (2) 同 3 ページ
 - 1. 連結経営成績に関する定性的情報
 - 2. 連結財政状態に関する定性的情報
- (3) 同 5 ページ
 - 5. 【四半期連結財務諸表】
 - (1) 【四半期連結貸借対照表】
- (4) 同 6 ページ
 - (1) 【四半期連結貸借対照表】
- (5) 同 7 ページ
 - (2) 【四半期連結損益計算書】
 - 【第 1 四半期連結累計期間】

(1) 「平成 22 年 3 月期 第 1 四半期決算短信」 1 ページ

1. 平成 22 年 3 月期第 1 四半期の連結業績(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 6 月 30 日)

【訂正前】

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22 年 3 月期第 1 四半期	15,684	26.6	706	33.8	706	67.0	451	69.7
21 年 3 月期第 1 四半期	21,357		1,067		2,141		1,493	

	1 株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22 年 3 月期第 1 四半期	6.11	
21 年 3 月期第 1 四半期	19.81	19.81

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22 年 3 月期第 1 四半期	59,714	29,784	49.8	401.91
21 年 3 月期	58,168	29,079	49.9	392.15

(参考) 自己資本 22 年 3 月期第 1 四半期 29,714 百万円 21 年 3 月期 29,010 百万円

【訂正後】

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22 年 3 月期第 1 四半期	15,684	26.6	706	33.8	706	67.0	374	74.9
21 年 3 月期第 1 四半期	21,357		1,067		2,141		1,493	

	1 株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22 年 3 月期第 1 四半期	5.06	
21 年 3 月期第 1 四半期	19.81	19.81

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22 年 3 月期第 1 四半期	59,636	29,707	49.7	400.87
21 年 3 月期	58,168	29,079	49.9	392.15

(参考) 自己資本 22 年 3 月期第 1 四半期 29,636 百万円 21 年 3 月期 29,010 百万円

(2) 同 3 ページ

1. 連結経営成績に関する定性的情報

【訂正前】

当第1四半期の当社グループの販売状況は、前年度後半より大幅に改善しましたが、前年同期との対比では厳しい状況となりました。

通信部品では、海外大手メーカーの携帯電話機向けの売上が伸び悩みました。映像・音響部品では、薄型テレビ、セットトップボックス用部品に回復の兆しが出ておりますが、全体的には前年の水準に達していません。一方、電装部品は、自動車生産が低水準に推移しているため、大幅減となりました。また情報事務機部品では、ネットワーク関連機器や電子辞書向け部品は好調でしたが、パソコン、ATM向け売上が不調であったため、全体的には前年同期比マイナスとなりました。電子玩具・家電部品では、TVゲーム、エアコン向け部品が大きく前年同期を下回りました。

収益につきましては、労務費、経費の削減、設備投資抑制による減価償却費削減、在庫圧縮等の緊急施策を前年度から継続するとともに、新製品の投入や原価低減を推進して収益力の回復に努めました結果、業績は期初の想定を上回りましたが、前年同期の水準までには至りませんでした。

以上の結果、当第1四半期の連結経営成績につきましては、売上高は156億8千4百万円(前年同期比26.6%減)、営業利益は7億6百万円(同33.8%減)、経常利益は7億6百万円(同67.0%減)、四半期純利益は4億5千1百万円(同69.7%減)となりました。

【訂正後】

当第1四半期の当社グループの販売状況は、前年度後半より大幅に改善しましたが、前年同期との対比では厳しい状況となりました。

通信部品では、海外大手メーカーの携帯電話機向けの売上が伸び悩みました。映像・音響部品では、薄型テレビ、セットトップボックス用部品に回復の兆しが出ておりますが、全体的には前年の水準に達していません。一方、電装部品は、自動車生産が低水準に推移しているため、大幅減となりました。また情報事務機部品では、ネットワーク関連機器や電子辞書向け部品は好調でしたが、パソコン、ATM向け売上が不調であったため、全体的には前年同期比マイナスとなりました。電子玩具・家電部品では、TVゲーム、エアコン向け部品が大きく前年同期を下回りました。

収益につきましては、労務費、経費の削減、設備投資抑制による減価償却費削減、在庫圧縮等の緊急施策を前年度から継続するとともに、新製品の投入や原価低減を推進して収益力の回復に努めました結果、業績は期初の想定を上回りましたが、前年同期の水準までには至りませんでした。

以上の結果、当第1四半期の連結経営成績につきましては、売上高は156億8千4百万円(前年同期比26.6%減)、営業利益は7億6百万円(同33.8%減)、経常利益は7億6百万円(同67.0%減)、四半期純利益は3億7千4百万円(同74.9%減)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

【訂正前】

流動資産は、前連結会計年度末に比べて5.6%増加し、362億7百万円となりました。これは、現金及び預金が11億4千3百万円、受取手形及び売掛金が10億3千4百万円それぞれ増加したことなどによります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.5%減少し、235億6百万円となりました。これは、投資有価証券が7億4千万円増加し、長期貸付金が6億7千7百万円、繰延税金資産が4億3千7百万円それぞれ減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて2.7%増加し、597億1千4百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて4.2%増加し、227億2千2百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が11億3百万円増加したことなどによります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて1.0%減少し、72億6百万円となりました。これは、長期借入金が1億8千1百万円増加し、役員退職慰労引当金が2億6千2百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて2.9%増加し、299億2千9百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.4%増加し、297億8千4百万円となりました。これは、利益剰余金が4億8百万円、その他有価証券評価差額金が4億2千8百万円それぞれ増加したことなどによります。

【訂正後】

流動資産は、前連結会計年度末に比べて5.6%増加し、362億7百万円となりました。これは、現金及び預金が11億4千3百万円、受取手形及び売掛金が10億3千4百万円それぞれ増加したことなどによります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.8%減少し、234億2千9百万円となりました。これは、投資有価証券が7億4千万円増加し、長期貸付金が6億7千7百万円、繰延税金資産が5億1千4百万円それぞれ減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて2.5%増加し、596億3千6百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて4.2%増加し、227億2千2百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が11億3百万円増加したことなどによります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて1.0%減少し、72億6百万円となりました。これは、長期借入金が1億8千1百万円増加し、役員退職慰労引当金が2億6千2百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて2.9%増加し、299億2千9百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.2%増加し、297億7百万円となりました。これは、利益剰余金が3億3千万円、その他有価証券評価差額金が4億2千8百万円それぞれ増加したことなどによります。

(3) 同 5 ページ

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

【訂正前】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
(省略)		
投資その他の資産		
その他	4,922	5,321
貸倒引当金	261	258
投資その他の資産合計	4,660	5,063
固定資産合計	23,506	23,865
資産合計	59,714	58,168

【訂正後】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
(省略)		
投資その他の資産		
その他	4,845	5,321
貸倒引当金	261	258
投資その他の資産合計	4,583	5,063
固定資産合計	23,429	23,865
資産合計	59,636	58,168

(4) 同 6 ページ

(1) 【四半期連結貸借対照表】

【訂正前】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
(省略)		
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,996	7,996
資本剰余金	12,353	12,347
利益剰余金	14,369	13,961
自己株式	△2,897	△2,873
株主資本合計	31,822	31,432
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	399	△29
為替換算調整勘定	△2,508	△2,392
評価・換算差額等合計	△2,108	△2,421
新株予約権	70	55
少数株主持分	-	13
純資産合計	29,784	29,079
負債純資産合計	59,714	58,168

【訂正後】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
(省略)		
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,996	7,996
資本剰余金	12,353	12,347
利益剰余金	14,291	13,961
自己株式	△2,897	△2,873
株主資本合計	31,745	31,432
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	399	△29
為替換算調整勘定	△2,508	△2,392
評価・換算差額等合計	△2,108	△2,421
新株予約権	70	55
少数株主持分	-	13
純資産合計	29,707	29,079
負債純資産合計	59,636	58,168

(5) 同 7 ページ

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

	(単位：百万円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
(省略)		
法人税、住民税及び事業税	476	71
法人税等調整額	192	<u>181</u>
法人税等合計	<u>668</u>	<u>253</u>
少数株主利益	1	-
四半期純利益	<u>1,493</u>	<u>451</u>

	(単位：百万円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
(省略)		
法人税、住民税及び事業税	476	71
法人税等調整額	192	<u>258</u>
法人税等合計	<u>668</u>	<u>330</u>
少数株主利益	1	-
四半期純利益	<u>1,493</u>	<u>374</u>

以 上